

令和 7 年度

交 野 市 立 認 定 こ ど も 園

機械警備業務委託仕様書

交野市こども園課

交野市立認定こども園（２園）機械警備業務委託仕様書
（防犯・火災監視・設備制御等）

この仕様書は、委託者（甲）・受託者（乙）とし、交野市立認定こども園の夜間・早朝の施設の安全確保を目的とするために、自動警報装置を用いて行う警備（以下「機械警備」という。）の実施要領について定める。

1. 警備委託物件

警備委託物件は、別表Ⅰに掲げる交野市立認定こども園（計２園）とする。

2. 警備方法

機械警備によるものとする。

- ① 機械警備において、乙は警報装置を設置し、当該警報機により感知された異常発生（侵入・火災等）を電話回線（既設）を通じて警備センターに自動的に通報する機械警備を設け、また、これらの機械設備の正常動作を警備センターにおいて確認できる装置を設置するものとする。
- ② 乙は万一警備時間中に警報装置の作動が不能になった場合は、警備に支障のないよう代替の警備対策を講ずるものとする。
- ③ センサーの取付場所は、別添図面を参考とし設置するものとする。
- ④ 発信装置は、異常発生箇所を識別表示出来るものを取り付けるものとする。

3. 警備要領

- ① 提供業務契約対象物件の火災報知、盗難防止等に於いて、その異常による不良行為の防止、若しくは異常発見によって其の被害を最小限に食い止める為の業務
- ② 乙の設置した機器によって、甲の異常信号を感知し、その異常に基づいて乙がその対策を講ずるものとする。
- ③ 乙の設置した「機器」の正常動作、保持の責任は乙にあるものとし、火災報知盤までの甲の施設管理の責任は甲にあるものとする。

4. 警備装置

（１）装置の設置等

- ① 乙は警備仕様に必要な警備用の装置等（以下装置という）を別添図面により設置する。
- ② 装置は乙の所有に属し、契約存続中甲に貸与するものとする。
- ③ 装置の設置工事は乙が行い、これに属する工事費用は乙の負担とする。
- ④ 乙の費用負担で設置した工事配線及び設置した機器が、本契約に定めた業務提供に

支障を生じた場合、その原因が故意または重大な過失による場合以外は、乙の負担により補修を行うものとする。

- ⑤ 本業務は甲の所有する電話を乙が使用するシステムとする。同、電話料金は甲が負担とする。

(2) 装置の取扱

- ① 甲は善良なる管理者の注意をもって装置を保管し、装置の操作については乙の指示に従う。
- ② 甲が装置の占有を失い、その他警備仕様の実施に支障を生ずるおそれのある事態が発生したときは、または甲が装置の故障を発見した時は、直ちに乙に通知する。
- ③ 甲は契約期間中、甲の責に帰すべき事由により「警報機器」を破損、紛失せしめた場合は、その復旧に要する費用は甲の負担とする。
- ④ 甲（職員その他関係者を含む）が装置の操作を誤ったため、若しくは甲の臨時依頼により乙が緊急出動を余儀なくされたときは、乙はこのために要した費用を甲に請求することができる。

(3) 保守

- ① 装置の性能を有効に維持するための保守点検ならびに修理は乙が行い、甲は業務に支障がない限り乙に協力する。
- ② 装置の保守点検ならびに修理に要する費用は下記のとおりとする。
 - ア. 装置の保守点検ならびに自然消耗による故障修理に要した費用は乙の負担とする。
 - イ. 上記（ア）項以外の乙の責に帰せざる事由による故障の修理に要した費用は甲の負担とし、甲は乙の請求あり次第これを支払う。

(4) 契約対象物件の変更

- ① 甲は、契約対象物件の増築、改造ならびに付帯する構造の変更（甲の機器の変更も含む）を行うときは、変更を行う日の15日前までに文書をもって乙に通知し、業務提供及び内容の検討を求めるものとする。若し甲の任意による施行等により生じた事故について、乙はその賠償の責は負わない。
- ② 甲の都合により前項の変更、既設の「警報機器」の移動または変更を生じた場合は、当該工事に要する一切の費用は甲の負担とし、新たに「警報機器」の追加が必要と認められる場合も同様とし、これにともない契約料金を改定することができるものとする。

5. 業務内容

機械警備等の時間については、別表Ⅱで定める。

機械警備時における職員等の入園については、原則禁止とするが、緊急やむを得ない場合は、次の要領で行うものとする。

- ① 園行事等時間外のために職員等が入園するときは、警備センターに電話等で氏名、所属、用件を告げ警備解除の申し入れを行う。
- ② 警備センターは警備解除の申し入れがあれば、直ちに当該園の警備解除の為に必要な処置を講ずること。

6. 緊急事態発生時の処置

- ① 天災地変、その他緊急事態が発生したときは、警備センターは臨時の処置をとり、園長及び乙の総括責任者に急報するとともに、関係機関にも連絡するなどの緊急事態の掌握にあたること。
- ② 必要を認めた事項については、詳細を事故報告書または緊急出動報告書を作成して甲へ提出する。

7. 鍵の受託

警備実施に必要な鍵は、甲・乙相互に保管し、それぞれ厳重な取扱と保管をなすものとする。

8. 機密保持

警備業務委託に関わり知り得た情報は、他に一切漏洩してはならない。

9. 勤務規律

乙及び乙の従業員は、次に定める勤務規律を守るとともに、業務の履行にあたっては善良なる管理者の責務をもってあたるものとする。

- ① 乙は、常に従業員に対して業務の履行に必要な教育及び指導を行うこと。
- ② 乙及び乙の従業員は、業務の履行の場合において、教育的配慮をもって言動その他に十分注意を払うこと。
- ③ 乙は、受託業務について従業員の所定の制服制帽を着用させ、常時身分証明書を携帯させること。

10. その他

- ① 乙及び乙の従業員は、作業中の過失により契約物品を滅失し、あるいは損傷したときは、直ちにこども園課に報告し、その指示を受けなければならない。
- ② 乙の従業員は、自己の過失によって市に損害を与えたときは、ただちに会社に報

告するものとし、その賠償について甲と協議すること。

- ③ この仕様書に定めのない事項及び疑義が生じたときは、甲・乙協議して定める。
ただし、軽微なものについては、乙はその責任においてなすものとする。

11. 協議事項

- ① 業務終了時、甲の担当者によってガス、電気、水道、その他、火の始末、各窓扉の施錠確認をする。
- ② 甲の出入口扉、窓等は業務終了の際、甲の責任によって閉鎖を確認する。
- ③ 甲は消火器、火災感知器、その他の消防設備、消防法に基づいて保守点検及び保守管理を実施されること。
- ④ 盗難警備上のセンサーが設置されている場合は、センサーが動作する物を置いたり、遮断するような物を置かないこと。
- ⑤ 隣接物件の状況は火災盗難上の警備計画に重要であるので、状況が変化した場合は速やかに乙に連絡すること。

交野市立認定こども園（2園）機械警備委託

別表Ⅰ

施 設 名	所 在 地
交野市立あさひ認定こども園	交野市星田5-2-12
交野市立くらやま認定こども園	交野市幾野3-18-1

別表Ⅱ

	機 械 警 備	時 間
平 日	0:00~6:50 19:15~24:00	6時間50分 4時間45分
土曜日	0:00~6:50 19:15~24:00	6時間50分 4時間45分
日曜日・休日	0:00~24:00	24時間00分
年末年始 12月29日~1月3日	0:00~24:00 (12月28日19:15~翌 年1月4日6:50)	24時間00分

*ただし、日曜日・休日において園行事等を行う場合は平日と同様とする。

(年3回程度)

